

消費動向調査(全国、平成 21 年 12 月実施分)
調査結果の要点

平成 21 年 12 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、11 月の 39.5 から 1.9 ポイント低下して 37.6 となり、2 か月連続で前月を下回った。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「耐久消費財の買い時判断」が上昇したものの、「雇用環境」、「暮らし向き」及び「収入の増え方」が低下したためである。

消費者態度指数の動きから見た 12 月の消費者マインドは、弱い動きがみられる。(下方修正、前月：「弱含みとなっている。」)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		原数値(前月差)
平成 21 年	10 月調査	40.5 (0.0)
	11 月調査	39.5 (1.0)
	<u>12 月調査</u>	<u>37.6 (1.9)</u>

平成 21 年 12 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」が 4 か月連続で増加し 31.9%と過去最高となった。一方、「上昇する」は 4 か月連続で減少し 29.2%と過去最低となった。また、「変わらない」も 4 か月ぶりに減少した。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が大幅に増えている。(前月：「低下すると見込む割合が増えている。」)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位: %)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年	10 月調査	18.3	33.2	39.4	9.2
	11 月調査	20.4	33.3	37.7	8.5
	<u>12 月調査</u>	<u>31.9</u>	<u>29.1</u>	<u>29.2</u>	<u>9.7</u>

「低下する」のこれまでの最高割合は 22.3% (21 年 5 月)

「上昇する」のこれまでの最低割合は 35.9% (16 年 5 月)

消費動向調査(全国、平成 21 年 11 月実施分)
調査結果の要点

平成 21 年 11 月の一般世帯の消費者態度指数（原数値）は、10 月の 40.5 から 1.0 ポイント低下して 39.5 となり、20 年 12 月以来 11 か月ぶりに前月を下回った。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下したためである。

消費者態度指数の動きから見た 11 月の消費者マインドは、弱含みとなっている。（下方修正、前月：「持ち直しの動きが緩やかになっている。」）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		原数値（前月差）
平成 21 年	9 月調査	40.5（ 0.4）
	10 月調査	40.5（ 0.0）
	<u>11 月調査</u>	<u>39.5（ 1.0）</u>

平成 21 年 11 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」が 3 か月連続で増加し 20.4%となった。また、「変わらない」も 3 か月連続で増加した。一方、「上昇する」は 3 か月連続で減少し 37.7%となった。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が増えている。（前月：同じ）

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値)（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年	9 月調査	15.8	30.7	43.4	10.1
	10 月調査	18.3	33.2	39.4	9.2
	<u>11 月調査</u>	<u>20.4</u>	<u>33.3</u>	<u>37.7</u>	<u>8.5</u>

「上昇する」の最低割合は 35.9%（16 年 5 月） 今月は過去 2 番目の低水準

「低下する」の最高割合は 22.3%（21 年 5 月） 今月は過去 3 番目の高水準

消費動向調査(全国、平成 21 年 10 月実施分)
調査結果の要点

平成 21 年 10 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、9 月と同水準の 40.5 となった。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち「収入の増え方」、「耐久消費財の買い時判断」、「暮らし向き」が上昇したものの、「雇用環境」が低下したためである。

消費者態度指数の動きから見た 10 月の消費者マインドは、持ち直しの動きが緩やかになっている。(下方修正、前月：「持ち直しの動きが続いている。」)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		原数値(前月差)
平成 21 年	8 月調査	40.1 (0.7)
	9 月調査	40.5 (0.4)
	<u>10 月調査</u>	<u>40.5 (0.0)</u>

平成 21 年 10 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」が 2 か月連続で増加し 18.3%となった。また、「変わらない」も 2 か月連続で増加した。一方、「上昇する」は 2 か月連続で減少し 39.4%となった。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が増えている。(前月：「低下すると見込む割合が依然として高水準である。」)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年	8 月調査	15.5	30.0	45.5	9.0
	9 月調査	15.8	30.7	43.4	10.1
	<u>10 月調査</u>	<u>18.3</u>	<u>33.2</u>	<u>39.4</u>	<u>9.2</u>

「上昇する」の最低割合は 35.9% (16 年 5 月) 今月は過去 3 番目の低水準

「低下する」の最高割合は 22.3% (21 年 5 月) 今月は過去 4 番目の高水準

消費動向調査(全国、平成 21 年 9 月実施分)
調査結果の要点

平成 21 年 9 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、8月の 40.1 から 0.4 ポイント上昇し 40.5 となった。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち「暮らし向き」、「収入の増え方」、「雇用環境」が上昇したためである。ただし、上昇幅は前月に比べて縮小している。

消費者態度指数の動きから見た 9 月の消費者マインドは、持ち直しの動きが続いている。
(据え置き)

一般世帯の消費者態度指数の推移

	原数値(前月差)
平成 21 年 7 月調査	39.4 (1.8)
8 月調査	40.1 (0.7)
<u>9 月調査</u>	<u>40.5 (0.4)</u>

平成 21 年 9 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」が 4 か月ぶりに増加し 15.8%となった。また、「変わらない」も 2 か月ぶりに増加した。一方、「上昇する」は再び減少し 43.4%となった。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が依然として高水準である。
(前月:「低下すると見込む割合が減少しつつある。」)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

	低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年 7 月調査	17.2	31.7	41.7	9.4
8 月調査	15.5	30.0	45.5	9.0
<u>9 月調査</u>	<u>15.8</u>	<u>30.7</u>	<u>43.4</u>	<u>10.1</u>

「上昇する」の最低割合は 35.9% (16 年 5 月)

「低下する」の最高割合は 22.3% (21 年 5 月)

消費動向調査(全国、平成 21 年 8 月実施分)
調査結果の要点

平成 21 年 8 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、7月の 39.4 から 0.7 ポイント上昇し 40.1 となった。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「耐久消費財の買い時判断」は低下したものの、「雇用環境」、「収入の増え方」、「暮らし向き」が上昇したためである。

消費者態度指数の動きから見た 8 月の消費者マインドは、持ち直しの動きが続いている。(据え置き)

一般世帯の消費者態度指数の推移

	原数値(前月差)
平成 21 年 6 月調査	37.6 (1.9)
7 月調査	39.4 (1.8)
<u>8 月調査</u>	<u>40.1 (0.7)</u>

平成 21 年 8 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」が 3 か月連続で減少し 15.5%となり、「変わらない」も 12 か月ぶりに減少した。一方、「上昇する」は増加し 45.5%となった。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が減少しつつある。(前月:「低下すると見込む割合が高水準であるなかで、変わらないと見込む割合が増えている。」)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

	低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年 6 月調査	19.0	29.4	42.1	9.6
7 月調査	17.2	31.7	41.7	9.4
<u>8 月調査</u>	<u>15.5</u>	<u>30.0</u>	<u>45.5</u>	<u>9.0</u>

「上昇する」の最低割合は 35.9% (16 年 5 月)、「低下する」は 21 年 5 月が最高割合

消費動向調査(全国、平成 21 年 7 月実施分)

調査結果の要点

平成 21 年 7 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、6 月の 37.6 から 1.8 ポイント上昇し 39.4 となり、7 か月連続で上昇した。ただし、消費者態度指数を構成する各意識指標で、「良くなる」との判断が増加したというより「悪くなる」との判断が減ったためであり、積極的な改善までに至ったとはいえない。

消費者態度指数の動きから見た 7 月の消費者マインドは、持ち直しの動きが続いている。(上方修正：前月までの「依然として厳しいものの」を削除)

一般世帯の消費者態度指数の推移

	原数値(前月差)	
平成 21 年 5 月調査	35.7	(3.3)
6 月調査	37.6	(1.9)
<u>7 月調査</u>	<u>39.4</u>	<u>(1.8)</u>

平成 21 年 7 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」と思うとの回答割合は 2 か月連続で減少したが、依然として 17.2%と高水準である。一方、「上昇する」と思うとの回答割合は再び減少して 41.7%となり、「変わらない」は 11 か月連続して上昇して 31.7%となった。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が高水準であるなかで、変わらないと見込む割合が増えている。(前月は、「低下すると見込む割合が高水準である。」)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

	低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年 5 月調査	22.3	28.2	40.1	9.5
6 月調査	19.0	29.4	42.1	9.6
<u>7 月調査</u>	<u>17.2</u>	<u>31.7</u>	<u>41.7</u>	<u>9.4</u>

「上昇する」の最低割合は 35.9% (16 年 5 月)、「低下する」は 21 年 5 月が最高割合

(参考) 一般世帯の予想物価変動率の試算(各回答区分に対する基準値を、回答割合に応じた加重平均により算出。「5%以上」については 3 通りの基準値を設定)

	21 年 7 月	21 年 5 月	19 年 4 月
5%以上の上昇見込みを 5.0%とした場合	0.73%	0.68%	0.86%
5%以上の上昇見込みを 7.5%とした場合	0.88%	0.91%	0.92%
5%以上の上昇見込みを 10.0%とした場合	1.03%	1.13%	0.98%

消費動向調査(全国、平成 21 年 6 月実施分)

調査結果の要点

平成 21 年 6 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、5月の 35.7 から 1.9 ポイント上昇し 37.6 となった。これは、消費者態度指数を構成する各意識指標で、「良くなる」との判断が増加したというより「悪くなる」との判断が減ったためであり、積極的な改善までに至ったとはいえない。

消費者態度指数の動きから見た 6 月の消費者マインドは、依然として厳しいものの、持ち直しの動きが続いている。

一般世帯の消費者態度指数の推移

	原数値(前月差)
平成 21 年 1 月調査	26.4 (0.2)
2 月調査	26.7 (0.3)
3 月調査	28.9 (2.2)
4 月調査	32.4 (3.5)
5 月調査	35.7 (3.3)
<u>6 月調査</u>	<u>37.6 (1.9)</u>

平成 21 年 6 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「低下する」と思うとの回答割合が 4 か月ぶりに減少したが、19.0%と過去 3 番目の高水準。一方、「上昇する」と思うとの回答割合は 11 か月ぶりに増加したが、42.1%と過去 5 番目の低水準。

消費者の物価上昇予想は、低下すると見込む割合が高水準である。(前月：低下すると見込む割合が増えている。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

	低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年 3 月調査	15.9	20.3	52.2	11.7
4 月調査	21.5	24.4	44.0	10.2
5 月調査	22.3	28.2	40.1	9.5
<u>6 月調査</u>	<u>19.0</u>	<u>29.4</u>	<u>42.1</u>	<u>9.6</u>

(参考)一般世帯の予想物価変動率の試算(各回答区分に対する基準値を、回答割合に応じた加重平均により算出。「5%以上」については3通りの基準値を設定)

	21 年 6 月	19 年 4 月	17 年 2 月
5%以上の上昇見込みを 5.0%とした場合	0.76%	0.86%	0.75%
5%以上の上昇見込みを 7.5%とした場合	0.96%	0.92%	0.81%
5%以上の上昇見込みを 10.0%とした場合	1.16%	0.98%	0.88%

消費動向調査(全国、平成 21 年 5 月実施分)

調査結果の要点

平成 21 年 5 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、4 月の 32.4 から 3.3 ポイントと大幅に上昇し、35.7 となった。これは、消費者態度指数を構成する各意識指標で、「良くなる」との判断が増加したというより「悪くなる」との判断が減ったためであり、積極的な改善までに至ったとはいえない。

消費者態度指数の動きから見た 5 月の消費者マインドは、依然として厳しいものの、持ち直しの動きが続いている。

一般世帯の消費者態度指数の推移

	原数値(前月差)
平成 20 年 12 月調査	26.2 (2.2)
平成 21 年 1 月調査	26.4 (0.2)
2 月調査	26.7 (0.3)
3 月調査	28.9 (2.2)
4 月調査	32.4 (3.5)
<u>5 月調査</u>	<u>35.7 (3.3)</u>

平成 21 年 5 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」と思うとの回答割合が減少し、40.1%と過去 3 番目の低水準となった。一方、「低下する」と思うとの回答割合は増加し、22.3%と調査開始(平成 16 年 4 月)以来の最高割合を 3 ヶ月連続で更新した。また、「変わらない」も 9 ヶ月連続で増加し、28.2%となった。

消費者の物価上昇予想には、低下すると見込む割合が増えている。(前月：沈静化するなかで低下すると見込む割合が増えている。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位: %)

	低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 21 年 3 月調査	15.9	20.3	52.2	11.7
4 月調査	21.5	24.4	44.0	10.2
<u>5 月調査</u>	<u>22.3</u>	<u>28.2</u>	<u>40.1</u>	<u>9.5</u>

(参考)一般世帯の予想物価変動率の試算(各回答区分に対する基準値を、回答割合に応じた加重平均により算出。「5%以上」については 3 通りの基準値を設定)

	21 年 5 月	19 年 5 月	17 年 5 月
5%以上の上昇見込みを 5.0%とした場合	0.68%	1.10%	0.76%
5%以上の上昇見込みを 7.5%とした場合	0.91%	1.19%	0.81%
5%以上の上昇見込みを 10.0%とした場合	1.13%	1.28%	0.85%

消費動向調査(全国、平成 21 年 4 月実施分)
調査結果の要点

平成 21 年 4 月の一般世帯の消費者態度指数(原数値)は、3 月の 28.9 から 3.5 ポイントと大幅に上昇し、32.4 となった。これは、構成する 4 項目全ての意識指標が前月差で上昇したためであり、消費者態度指数は 4 ヶ月連続で前月を上回った。

なお、各意識指標の上昇は、総じて「良くなる」との判断が増加したというより「悪くなる」との判断が減ったためである。

このように、積極的な改善までに至ったとはいえないが、悪化の判断が減ったことにより上昇幅は拡大した。

消費者態度指数の動きから見た 4 月の消費者マインドは、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きが見られる。

一般世帯の消費者態度指数の推移

	原数値(前月差)
平成 20 年 11 月調査	28.4 (1.0)
12 月調査	26.2 (2.2)
平成 21 年 1 月調査	26.4 (0.2)
2 月調査	26.7 (0.3)
3 月調査	28.9 (2.2)
<u>4 月調査</u>	<u>32.4 (3.5)</u>

平成 21 年 4 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」と思うとの回答割合が前月に比べ減少し 44.0%となり、50%を下回った。一方、「低下する」と思うとの回答割合は増加し、21.5%と調査開始(平成 16 年 4 月)以来の最高割合を 2 ヶ月連続で更新した。また、「変わらない」も 8 ヶ月連続で増加し、24.4%となった。

消費者の物価上昇予想には、沈静化するなかで低下すると見込む割合が増えている。

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位: %)

	低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 20 年 11 月調査	6.4	9.4	77.2	7.1
12 月調査	9.7	13.2	68.4	8.7
平成 21 年 1 月調査	13.8	16.7	59.2	10.3
2 月調査	13.2	20.0	55.4	11.4
3 月調査	15.9	20.3	52.2	11.7
<u>4 月調査</u>	<u>21.5</u>	<u>24.4</u>	<u>44.0</u>	<u>10.2</u>